開閉会日時 月曜日 閉会 11:07 会議場所 議 1 番 市川 聖母 出席 7 番 横田 保江 出席 13 番 中村 忠力 2 番 吉田 和行 出席 8 番 田村 秀男 出席 14 番 佐藤 初園 3 番 髙橋眞結美 出席 9 番 小椋 哲也 出席 15 番 戸田 憲怙 4 番 伊勢 徹 出席 10 番 外山 浩司 出席 16 番 西原 浩 5 番 貞宗 拓雄 出席 11 番 今西 和雄 出席 6 番 宮越 正人 欠席 12 番 松原 政勝 出席	令和7年第2回全員協議会 要点記録				
2 番 吉田 和行 出席 8 番 田村 秀男 出席 14 番 佐藤 初加 3 番 髙橋眞結美 出席 9 番 小椋 哲也 出席 15 番 戸田 憲怙 4 番 伊勢 徹 出席 10 番 外山 浩司 出席 16 番 西原 治 5 番 貞宗 拓雄 出席 11 番 今西 和雄 出席 6 番 宮越 正人 欠席 12 番 松原 政勝 出席	湯所 別海町議会 議場				
議員の出欠 3 番 髙橋眞結美 出席 9 番 小椋哲也 出席 15 番 戸田 憲悟 4 番 伊勢 徹 出席 10 番 外山浩司 出席 16 番 西原 治 5 番 貞宗 拓雄 出席 11 番 今西 和雄 出席 6 番 宮越正人 欠席 12 番 松原 政勝 出席	出席				
議員の出欠 4 番 伊勢 徹 出席 10 番 外山 浩司 出席 16 番 西原 浩 5 番 貞宗 拓雄 出席 11 番 今西 和雄 出席 6 番 宮越 正人 欠席 12 番 松原 政勝 出席	生 出席				
議員の出欠 4 番 伊勢 徹 出席 10 番 外山 浩司 出席 16 番 西原 浩 5 番 貞宗 拓雄 出席 11 番 今西 和雄 出席 6 番 宮越 正人 欠席 12 番 松原 政勝 出席	2 出席				
5 番 貞宗 拓雄 出席 11 番 今西 和雄 出席 6 番 宮越 正人 欠席 12 番 松原 政勝 出席					
6 番 宮越 正人 欠席 12番 松原 政勝 出席					
┃					
機関の長等と選挙管理委員長とは異なる					
永田 雅夫 欠席 信夫 重勝 欠席					
総務部長福祉部長産業振興部長保健生活部	Ę				
伊藤 輝幸 出席 干場 みゆき 出席 佐々木 栄典 出席 小川 信明	出席				
建設水道部長教育部長病院事務長会計管理者	会計管理者				
外石 昭博 出席 宮本 栄一 出席 三戸 俊人 出席 入倉 伸趾	出席				
農業委員会事務局長 監査委員事務局長 総務部次長兼総務課長 保健生活部次長	兼町民課長				
	出席				
	建設水道部次長兼上下水道課長				
	出席				
生涯学習センター長兼中央公民館長					
┃ _昍 ┃ 福原 義人 出席					
	出席				
防災・基地対策課長 西春別支所長兼西公民館長 尾岱沼支所長兼東公民館長 福祉課長	٠,				
岩口 裕昭 欠席 小村 茂 出席 大坂 恒夫 出席 石戸谷 友	絵 出席				
介護支援課長 老人保健施設事務長 生活環境課長 農政課長	山崎				
■ 課長職 高橋 勇樹 出席 渡辺 久利 出席 上田 健一 出席 皆川 学 あてまた。 「商工観光課長 建築住宅課長 事業課長 上下水道課	出席				
掘込 美穂 出席 廣島 静治 欠席 佐竹 和仁 欠席 袴田 充版 病院事務課長 学務・スポーツ課長 学校教育課長兼給食センター長 指導参事	欠席				
横木 直人 出席 斎藤 陽 出席 池田 卓也 出席 瀬川 航平	· 欠席				
生涯学習課長 図書館長ほか 総合政策課主幹	八巾				
大戸口 誠 出席 大戸田 大田 大					
事務局職員 事務局長 干場 富夫 事務局主幹 木幡 友哉 合計	計 2名				

令和7年第2回全員協議会 要点記録

議員 4番 伊勢 総務部長 伊藤 議員 11番 今西 総務部長 伊藤 総務部長 伊藤 総務部長 伊藤 総務部長 伊藤 ・今見てもらったのは一部の機能で、ほかにも様々な情報がある。入口が一つになったことは使いやすくなったと思うので有効活用してもらいたい。また、発信するばかりではなく、多くの声を聞くということも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。 ・月ごとにデータの更新はできないか。 総務部長 伊藤 総務部長 伊藤 ・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。					
議長 西原 開催概要説明					
議長 西原 日程第1 副町長挨拶 挨拶及び概要説明 日曜第2 今和6年度各計補正予算(案)の概要について 財政課長 西原 日曜第2 今和6年度各会計補正予算(案)の概要について 財政課長 遊り 一般会計補正予算級又総括について観要説明 ・国民健康保険特別会計補正予算概要説明 ・国民健康保険特別会計補正予算概要説明 ・「角護支援課長 高橋 保健生活が次長 谷村 後期高齢者医療特別会計補正予算概要説明 ・「角護支援課長 高橋 保健生活が次長 新堀 接題水道部次長 新堀 接題水道部次長 新堀 接題水道部次長 新堀 接題水道部次長 新堀 接題水道部次長 新堀 接題水道部次長 新堀 接頭 一同 表話長 西原 記議長 西原 記議長 西原 日曜 ・本・本事業の令和7年度の実施概要について説明する。 ①根拠やデータに基づ政策立案の手法であるEBPMを総合計画に活用するための検討を進めるべく、EBPM研修会を本年度に続き開催。②様々な情報データを簡単な操作で見える化できるBIPMに呼ばれるパソコントの試験導入、(3歳計データの利活用で総務大臣賞を受賞している神戸市への研修視察、(3統計データをグラアで分か)やすくまとめたホームページドータで考える別계町1の連用を続け、政策資源の見える化を進のフ、総合計画書をデジタルプタルで式により、スマトフォンなどでも容易に閲覧できるようにする。 以上が事業概要となるが、令和10年度まで継続する本事業の計画において、初年度の令和7年度は、仕組みづくりの研究と改善を中心に取り組んでいそので、令和8年度以隣に本格的な計画策定作業に入っていきたと考えている。最後にBIPMのインメージを画像で紹介する。年度別の人口ビラシャドか漁援要等を描えた、任意の情報を確認することができる。様々な情報を見る名化、職員が政策形成の根拠として活用するのは当然のこと、議員各位におかれても、一般質問や委員会調査の参考にしていただきたいと考えているが、一方的に発信して終わりとならないようにしてほしい。・今見でもちかの明確にときたと思うが、それらとの連携などはどう考えているが、一方的に発信して終わりとならないようにしてほしい。・今見でもちからかいようにしてはい、また、発信するばがりて進なく、多くの声を聞くというととも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。・月ごとにデータの更新にできないか。・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。					
出南議員 15名、欠席議員1名、会期決定1日間 日程第1 間可長挨拶 謝町長	<u>議長</u>	四原	4		
議長 西原					
議長 西原 日	- 	T.E.			
議長 西原 月川 保健生活が次長 合村 名健事務長 渡辺 小護支援課長 高橋 保健生活が次長 合村 の一次 で			1 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
一般会計補正予算及び総括について概要説明 保健生活部次長 合村 海辺 介護支援課長 高橋 保健生活部次長 合村 病院事務課長 校木 建設水道部次長 新堀 建設水道部次長 西原 議長 西原 議長 西原 議長 西原 議長 西原 議長 西原 総務部長 伊藤 一日 日程常3 総合計画策定推進事業について 一本事業の令和7年度の実施概要について説明する。 ① (退機やデータへ配基である上下の研修視察、④統計データを問すが検すで見える化できる目 メール上呼ばれるパンコンソナの試験導入、③統計データの利活用で総務大臣賞を受賞している神戸市への研修視察、④統計データを問すが検すで見える化できる目 ソールと呼ばれるパンコンソナの試験等入、③統計データの利活用で総務大臣賞を受賞している神戸市への研修視察、④統計データをグラフで分かりやすくまとめたホームページ「データで考える別海町」の運用を続け、政策資源の見える化を進めつ、総合計画書をデジタルブック形式により、スマートフォンなどでも容易に関節できるようにする。 以上が事業概要となるが、令和10年度まで継続する本事業の計画におり、スマートフォンなどでも容易に関節できるようにする。 以上が事業概要となるが、令和10年度まで継続する本事業の計画において、初年度の令和7年度は、仕組みブジりの研究と改善を中心に取り組んでいくもので、令和8年度以際に本格的な計画策定作業に入っていきたいと考えている。 歳後医 B ソールのイメージを画像な経介する。 年度別の人口ピラミッドや漁獲量実績など、任意の情報を確認することができる。 様々な情報を見える化し、職員が政策形成の根拠として活用するのは当然のごと、議員各位におかれても、一般質問や委員会調査の参考にしていただきたいと考えている。 ・年度単位での更新規度はとつを含ないようにしてほしい。 ・今周 ・今月でもなったと思うので有効活用してもらいたい。また、発信する活かではなく、多の声を創していうことも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。 ・月ことにデータの更新はできないか。 ・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。					
・ 国民健康保険特別会計補正予算概要説明 ・					
 ・					
 介護束接課長 高橋 保健生活部次長 谷村 病院事務課長 校木 建設水道部次長 新堀 建設水道部次長 新堀 議長 西原 議務部長 伊藤 ・ (根拠やデータに基子の利用を含めて、) (根拠やデータに基本の大く) (ません) (として) (はずいて) (はずいで) (はずい					
保健生活部次長 谷村病院事務課長 校木 建設水道部次長 新堀 建設水道部次長 新堀 議長 西原 議員 一同 議長 西原 総務部長 伊藤 ・本事業会計補正予算概要説明 ・なし 日程第3 総合計画原定推進事業について ・本事業の令和7年度の実施概要について説明する。 ・①根拠やデータに夏ブ、政策立案の手法であるEBPMを総合計画に活用するための検討を進めるべく、EBPM研修会を本年度に続き開催。②様々な情報データを簡単な操作で見える化できるBIツールと呼ばれるパソコンソフトの試験導入、③統計データの利活用で総務大臣賞を受賞している神戸市への研修視察、④統計データをグラフで分かりやするよめたホームページデータで考える別海町」の運用を続け、政策資源の見える化を進めつつ、総合計画書をデジタルブック形式により、スマートフォンなどでも容易に関策できるようにする。 以上が事業概要となるが、令和10年度まで継続する本事業の計画において、初年度の令和7年度は、仕組みづくりの研究と改善を中心に取り組んでいくもので、令和8年度以降に本格的な計画策定作業に入っていきたいと考えている。最後にBIツールのイメージを画像で紹介する。 年度別の人口ピラミッドや漁獲量実績など、任意の情報を確認することができる。様々な情報を見える化し、職員が政策形成の根拠として活用するのは当然のこと、議員各位におかれても、一般質問・BIツールのイメージを画像で紹介する。 年度別の人口ピラミッドや漁獲量実績など、任意の情報を確認することができる。様々な情報を見える化し、職員が政策形成の根拠として活用するのは当然のこと、議員自位をかかなが見ていましていただきたいと考えている。・・ 空間 ・ B I ツールのデータの更新頻度はどの程度か・ ・ 年度単位での更新を想定している。・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					
内院事務課長 校本 地域が適的次長 新堀 地域が適的次長 新堀 地域 地域 地域 地域 地域 地域 地域 地					
建設水道部次長 新堀 ・水道事業会計補正予算概要説明 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					
建設水道部次長 新堀 議長 西原 議長 西原 総務部長 伊藤 ※務部長 伊藤 ※第二 中野 ※第二 中野 ※移動長 伊藤 ※務部長 伊藤 ※務日 伊藤 ※務部長 伊藤					
議長 西原 日程第3 総合計画策定推進事業について 地帯等 の令和7年度の実施概要について説明する。 ① 根拠やデータに基づ政策立案の手法である EBPMを総合計画に活用するための検討を進めるべく、EBPM研修会を本年度に続き開催、②様々な情報データを簡単な操作で見える化できるBIツールと呼ばれるパソコンソフトの試験導入、③統計データの利活用で総務大臣賞を受賞している神戸市への研修視察、④統計データをグラフで分かりやすくまとめたホームページドデータで考える別海町」の運用を続け、政策資源の見える化を進めつつ、総合計画書をデジタルブック形式により、スマートフォンなどでも容易に閲覧できるようにする。以上が事業概要となるが、令和10年度まで継続する本事業の計画において、初年度の令和7年度は、仕組みづくりの研究と改善を中心に取り組んでいくもので、令和8年度以降に本格的な計画策定作業に入っていきたいと考えている。最後にBIツールのイメージを画像で紹介する。年度別の人口ビラシッドや漁獲量実績など、任意の情報を確認することができる。様々な情報を見える化し、職員が政策形成の根拠として活用するのは当然のこと、議員各位におかれても、一般質問や委員会調査の参考にしていただきたいと考えている。・質問 ・					
議員 西原 総務部長 伊藤 一日 一日 一日 一日 日程第3 総合計画策定推進事業について 一・本事業の令和7年度の実施概要について説明する。 ① 根拠やデータに基づく政策立案の手法である E B P M を総合計画に活用するための検討を進めるべ、E B P M 研修会を本年度に続き開催、②様々な情報データを簡単な操作で見える化できる B I ソールと呼ばれるパソコンソフトの試験導入、③統計データの利活用で総務大臣賞を受賞している神戸市への研修視察、④統計データをグラフで分かりやすくまとめたホームページ「データで考える別海町」の運用を続け、政策資源の見える化を進めつつ、総合計画書をデジタルブック形式により、スマートフォンなどでも容易に閲覧できるようにする。 以上が事業概要となるが、令和10年度まで継続する本事業の計画において、初年度の令和7年度は、仕組みづくりの研究と改善を中心に取り組んでいくもので、令和8年度以降に本格的な計画策定作業に入っていきたいと考えている。最後(E B I ツールのイメージを画像で紹介する。 年度別の人口ピラミッドや漁獲量実績など、任意の情報を確認することができる。様々な情報を見える化し、職員が政策形成の根拠として活用するのは当然のこと、議員各位におかれても、一般質問や委員会調査の参考にしていただきたいと考えている。・質問 ・					
議長 西原 総務部長 伊藤 ・ ・本事業の令和7年度の実施概要について説明する。 ・本事業の令和7年度の実施概要について説明する。 ・①根拠やデータに基づ収策立案の手法である E B P M を総合計画に活用するための検討を進めるべく、E B P M 研修会を本年度に続き開催、②様々な情報データを簡単な操作で見える化できる B I ツールと呼ばれるパソコンソフトの試験導入、③統計データの利活用で総務大臣賞を受賞している神戸市への研修視察、④統計データをグラフで分かりやすくまとめたホームページ「データで考える別海町」の連用を続け、政策資源の見える化を進めつつ、総合計画書をデジタルブック形式により、スマートフォンなどでも容易に閲覧できるようにする。 以上が事業概要となるが、令和10年度まで継続する本事業の計画において、初年度の令和7年度は、仕組みづくりの研究と改善を中心に取り組んでいくもので、令和8年度以降に本格的な計画策定作業に入っていきたいと考えている。最後に B I ツールのイメージを画像で紹介する。 年度別の人口ビラミッドや漁獲量実績など、任意の情報を確認することができる。様々な情報を見える化し、職員が政策形成の根拠として活用するのは当然のこと、議員各位におかれても、一般質問や委員会調査の参考にしていただきたいと考えている。・ ・			1		
・本事業の令和7年度の実施概要について説明する。 ①根拠やデータに基づく政策立案の手法であるEBPMを総合計画に活用するための検討を進めるべく、EBPM研修会を本年度に続き開催、②様々な情報データを簡単な操作で見える化できるBIツールと呼ばれるパソコンソフトの試験導入、③統計データの利活用で総務大臣賞を受賞している神戸市への研修視察、④統計データをグラフでわかりやすくまとめたホームページ「データで考える別海町」の運用を続け、政策資源の見える化を進めつつ、総合計画書をデジタルブック形式により、スマートフォンなどでも容易に閲覧できるようにする。 以上が事業概要となるが、今和10年度まで継続する本事業の計画において、初年度の令和7年度は、仕組みづくりの研究と改善を中心に取り組んでいくもので、令和8年度以降に本格的な計画策定作業に入っていきたいと考えている。最後にBIツールのイメージを画像で紹介する。年度別の人口ビラミッドや漁獲量実績など、任意の情報を確認することができる。様々な情報を見える化し、職員が政策形成の根拠として活用するのは当然のこと、議員各位におかれても、一般質問や委員会調査の参考にしていただきたいと考えている。・質問 ・BIツールのデータの更新頻度はどの程度か。・年度単位での更新を想定している。・ごれまでも様々な方法で情報発信してきたと思うが、それらとの連携などはどう考えているか。一方的に発信して終わりとならないようにしてほしい。・今見てもらったのは一部の機能で、ほかにも様々な情報がある。入口が一つになったことは使いやすくなったと思うので有効活用してもらいたい。また、発信するばかりではなく、多くの声を聞くということも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。・月ごとにデータの更新はできないか。・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。			4		
①根拠やデータに基づく政策立案の手法である E B P M を総合計画に活用するための検討を進めるべく、E B P M 研修会を本年度に続き開催、②様々な情報データを簡単な操作で見える化できる B I ツールと呼ばれるパソコンソフトの試験導入、③統計データの利活用で総務大臣賞を受賞している神戸市への研修視察、④統計データをグラフで分かりやすくまとめたホームページ「データで考える別海町」の運用を続け、政策資源の見える化を進めつつ、総合計画書をデジタルブック形式により、スマートフォンなどでも容易に閲覧できるようにする。以上が事業概要となるが、令和10年度まで継続する本事業の計画において、初年度の令和7年度は、仕組みづくりの研究と改善を中心に取り組んでいくもので、令和8年度以降に本格的な計画策定作業に入っていきたいと考えている。最後に B I ツールのイメージを画像で紹介する。年度別の人口ピラミッドや漁獲量実績など、任意の情報を確認することができる。様々な情報を見える化し、職員が政策形成の根拠として活用するのは当然のこと、議員各位におかれても、一般質問や委員会調査の参考にしていただきたいと考えている・一質問・B I ツールのデータの更新頻度はどの程度か。・年度単位での更新を想定している。・これまでも様々な方法で情報発信してきたと思うが、それらとの連携などはどう考えているか。一方的に発信して終わりとならないようにしてほしい。・今見てもらったのは一部の機能で、ほかにも様々な情報がある。入口が一つになったことは使いやすくなったと思うので有効活用してもらいたい。また、発信するばかりではなく、多くの声を聞くということも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。・月ごとにデータの更新はできないか。・月日単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。			• · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
めの検討を進めるべく、EBPM研修会を本年度に続き開催、②様々な情報データを簡単な操作で見える化できるBIツールと呼ばれるパソコンソフトの試験導入、③統計データの利活用で総務大臣賞を受賞している神戸市への研修視察、④統計データをグラフで分かりやすくまとめたホームページ「データで考える別海町」の運用を続け、政策資源の見える化を進めつつ、総合計画書をデジタルブック形式により、スマートフォンなどでも容易に閲覧できるようにする。 以上が事業概要となるが、令和10年度まで継続する本事業の計画において、初年度の令和7年度は、仕組みづくりの研究と改善を中心に取り組んでいくもので、令和8年度以降に本格的な計画策定作業に入っていきたいと考えている。最後にBIツールのイメージを画像で紹介する。 年度別の人口ビラシャドや漁獲量実績など、任意の情報を確認することができる。様々な情報を見える化し、職員が政策形成の根拠として活用するのは当然のこと、議員各位におかれても、一般質問や委員会調査の参考にしていただきたいと考えている。・質問・BIツールのデータの更新頻度はどの程度か。・年度単位での更新を想定している。・これまでも様々な方法で情報発信してきたと思うが、それらとの連携などはどう考えているか。一方的に発信して終わりとならないようにしてほしい。・今見てもらたのは一部の機能で、ほかにも様々な情報がある。入口が一つになったことは使いやすくなったと思うので有効活用してもらいたい。また、発信するばかりではなく、多くの声を聞くということも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。・月ごとにデータの更新はできないか。・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。	総務部長	伊滕			
を簡単な操作で見える化できる B I ツールと呼ばれるパソコンソフトの試験導入、③統計データの利活用で総務大臣賞を受賞している神戸市への研修視察、④統計データをグラフで分かりやすくまとめたホームページ「データで考える別海町」の運用を続け、政策資源の見える化を進めつつ、総合計画書をデジタルブック形式により、スマートフォンなどでも容易に閲覧できるようにする。 以上が事業概要となるが、令和10年度まで継続する本事業の計画において、初年度の令和7年度は、仕組みづくりの研究と改善を中心に取り組んでいくもので、令和8年度以降に本格的な計画策定作業に入っていきたいと考えている。 最後に B I ツールのイメージを画像で紹介する。 年度別の人口ピラミットや漁獲量実績など、任意の情報を確認することができる。様々な情報を見える化し、職員が政策形成の根拠として活用するのは当然のこと、議員各位におかれても、一般質問や委員会調査の参考にしていただきたいと考えている。・質問 B I ツールのデータの更新頻度はどの程度か。・年度単位での更新を想定している。・ごれまでも様々な方法で情報発信してきたと思うが、それらとの連携などはどう考えているか。一方的に発信して終わりとならないようにしてほしい。・今見てもらったのは一部の機能で、ほかにも様々な情報がある。入口が一つになったことは使いやすくなったと思うので有効活用してもらいたい。また、発信するばかりではなく、多くの声を聞くということも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。・月ごとにデータの更新はできないか。・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。					
計データの利活用で総務大臣賞を受賞している神戸市への研修視察、④統計データをグラフで分かりやすくまとめたホームページ「データで考える別海町」の運用を続け、政策資源の見える化を進めつつ、総合計画書をデジタルブック形式により、スマートフォンなどでも容易に閲覧できるようにする。 以上が事業概要となるが、令和10年度まで継続する本事業の計画において、初年度の令和7年度は、仕組みづくりの研究と改善を中心に取り組んでいくもので、令和8年度以降に本格的な計画策定作業に入っていきたいと考えている。最後にBIツールのイメージを画像で紹介する。 年度別の人口ピラミッドや漁獲量実績など、任意の情報を確認することができる。様々な情報を見える化し、職員が政策形成の根拠として活用するのは当然のこと、議員各位におかれても、一般質問や委員会調査の参考にしていただきたいと考えている。・・・ 質問・BIツールのデータの更新頻度はどの程度か・・・ 年度単位での更新を想定している。・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					
をグラフで分かりやすくまとめたホームページドデータで考える別海町」の運用を続け、政 策資源の見える化を進めつつ、総合計画書をデジタルブック形式により、スマートフォンな どでも容易に閲覧できるようにする。 以上が事業概要となるが、令和10年度まで継続する本事業の計画において、初年 度の令和7年度は、仕組みづくりの研究と改善を中心に取り組んでいくもので、令和8年 度以降に本格的な計画策定作業に入っていきたいと考えている。 最後にBIツールのイメージを画像で紹介する。 年度別の人口ピラミッドや漁獲量実績など、任意の情報を確認することができる。 様々な情報を見える化し、職員が政策形成の根拠として活用するのは当然のこと、議 員各位におかれても、一般質問や委員会調査の参考にしていただきたいと考えている。 ・質問 ・BIツールのデータの更新頻度はどの程度か。 ・年度単位での更新を想定している。 ・これまでも様々な方法で情報発信してきたと思うが、それらとの連携などはどう考えているか。一方的に発信して終わりとならないようにしてほしい。 ・今見てもらったのは一部の機能で、ほかにも様々な情報がある。入口が一つになったことは使いやすくなったと思うので有効活用してもらいたい。 また、発信するばかりではなく、多くの声を聞くということも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。 ・月ごとにデータの更新はできないか。 ・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。 ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。					
策資源の見える化を進めつつ、総合計画書をデジタルブック形式により、スマートフォンなどでも容易に閲覧できるようにする。 以上が事業概要となるが、令和10年度まで継続する本事業の計画において、初年度の令和7年度は、仕組みづくりの研究と改善を中心に取り組んでいくもので、令和8年度以降に本格的な計画策定作業に入っていきたいと考えている。 最後にBIツールのイメージを画像で紹介する。 年度別の人口ピラミッドや漁獲量実績など、任意の情報を確認することができる。様々な情報を見える化し、職員が政策形成の根拠として活用するのは当然のこと、議員各位におかれても、一般質問や委員会調査の参考にしていただきたいと考えている。・質問・BIツールのデータの更新頻度はどの程度か。・年度単位での更新を想定している。・これまでも様々な方法で情報発信してきたと思うが、それらとの連携などはどう考えているか。一方的に発信して終わりとならないようにしてほしい。・今見てもらったのは一部の機能で、ほかにも様々な情報がある。入口が一つになったことは使いやすくなったと思うので有効活用してもらいたい。また、発信するばかりではなく、多くの声を聞くということも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。・月ごとにデータの更新はできないか。・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。					
どでも容易に閲覧できるようにする。 以上が事業概要となるが、令和10年度まで継続する本事業の計画において、初年度の令和7年度は、仕組みづくりの研究と改善を中心に取り組んでいくもので、令和8年度以降に本格的な計画策定作業に入っていきたいと考えている。最後にBIYールのイメージを画像で紹介する。 年度別の人口ピラミッドや漁獲量実績など、任意の情報を確認することができる。様々な情報を見える化し、職員が政策形成の根拠として活用するのは当然のこと、議員各位におかれても、一般質問や委員会調査の参考にしていただきたいと考えている。・質問・BIYールのデータの更新頻度はどの程度か。・年度単位での更新を想定している。・これまでも様々な方法で情報発信してきたと思うが、それらとの連携などはどう考えているか。一方的に発信して終わりとならないようにしてほしい。・今見てもらったのは一部の機能で、ほかにも様々な情報がある。入口が一つになったことは使いやすくなったと思うので有効活用してもらいたい。また、発信するばかりではなく、多くの声を聞くということも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。・月ごとにデータの更新はできないか。・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。			1		
以上が事業概要となるが、令和10年度まで継続する本事業の計画において、初年度の令和7年度は、仕組みづくりの研究と改善を中心に取り組んでいくもので、令和8年度以降に本格的な計画策定作業に入っていきたいと考えている。最後にBIツールのイメージを画像で紹介する。 年度別の人口ピラミッドや漁獲量実績など、任意の情報を確認することができる。様々な情報を見える化し、職員が政策形成の根拠として活用するのは当然のこと、議員各位におかれても、一般質問や委員会調査の参考にしていただきたいと考えている。・質問 ・BIツールのデータの更新頻度はどの程度か。・年度単位での更新を想定している。・年度単位での更新を想定している。・ これまでも様々な方法で情報発信してきたと思うが、それらとの連携などはどう考えているか。一方的に発信して終わりとならないようにしてほしい。・今見てもらったのは一部の機能で、ほかにも様々な情報がある。入口が一つになったことは使いやすくなったと思うので有効活用してもらいたい。また、発信するばかりではなく、多くの声を聞くということも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。・ 月ごとにデータの更新はできないか。・ 月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。 ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。					
度の令和7年度は、仕組みづくりの研究と改善を中心に取り組んでいくもので、令和8年度以降に本格的な計画策定作業に入っていきたいと考えている。 最後にBIツールのイメージを画像で紹介する。 年度別の人口ピラミッドや漁獲量実績など、任意の情報を確認することができる。様々な情報を見える化し、職員が政策形成の根拠として活用するのは当然のこと、議員各位におかれても、一般質問や委員会調査の参考にしていただきたいと考えている。 ・質問 ・BIツールのデータの更新頻度はどの程度か。 ・年度単位での更新を想定している。 ・ごれまでも様々な方法で情報発信してきたと思うが、それらとの連携などはどう考えているか。一方的に発信して終わりとならないようにしてほしい。 ・今見てもらったのは一部の機能で、ほかにも様々な情報がある。入口が一つになったことは使いやすくなったと思うので有効活用してもらいたい。また、発信するばかりではなく、多くの声を聞くということも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。 ・月ごとにデータの更新はできないか。 ・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。 ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。					
度以降に本格的な計画策定作業に入っていきたいと考えている。 最後にBIツールのイメージを画像で紹介する。 年度別の人口ピラミッドや漁獲量実績など、任意の情報を確認することができる。 様々な情報を見える化し、職員が政策形成の根拠として活用するのは当然のこと、議 員各位におかれても、一般質問や委員会調査の参考にしていただきたいと考えている。 ・質問 ・BIツールのデータの更新頻度はどの程度か。 ・年度単位での更新を想定している。 ・これまでも様々な方法で情報発信してきたと思うが、それらとの連携などはどう考えているか。一方的に発信して終わりとならないようにしてほしい。 ・今見てもらったのは一部の機能で、ほかにも様々な情報がある。入口が一つになったことは使いやすくなったと思うので有効活用してもらいたい。 また、発信するばかりではなく、多くの声を聞くということも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。 ・月ごとにデータの更新はできないか。 ・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。 ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。					
最後にBIツールのイメージを画像で紹介する。 年度別の人口ピラミッドや漁獲量実績など、任意の情報を確認することができる。様々な情報を見える化し、職員が政策形成の根拠として活用するのは当然のこと、議員各位におかれても、一般質問や委員会調査の参考にしていただきたいと考えている。・質問 ・BIツールのデータの更新頻度はどの程度か。・年度単位での更新を想定している。・これまでも様々な方法で情報発信してきたと思うが、それらとの連携などはどう考えているか。一方的に発信して終わりとならないようにしてほしい。・今見てもらったのは一部の機能で、ほかにも様々な情報がある。入口が一つになったことは使いやすくなったと思うので有効活用してもらいたい。また、発信するばかりではなく、多くの声を聞くということも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。・月ごとにデータの更新はできないか。・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。 ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。					
年度別の人口ピラミッドや漁獲量実績など、任意の情報を確認することができる。 様々な情報を見える化し、職員が政策形成の根拠として活用するのは当然のこと、議 員各位におかれても、一般質問や委員会調査の参考にしていただきたいと考えている。 ・質問 ・BIツールのデータの更新頻度はどの程度か。 ・年度単位での更新を想定している。 ・ これまでも様々な方法で情報発信してきたと思うが、それらとの連携などはどう考えているか。一方的に発信して終わりとならないようにしてほしい。 ・今見てもらったのは一部の機能で、ほかにも様々な情報がある。入口が一つになったことは使いやすくなったと思うので有効活用してもらいたい。 また、発信するばかりではなく、多くの声を聞くということも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。 ・ 月ごとにデータの更新はできないか。 ・ 月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。 ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。			度以降に本格的な計画策定作業に入っていきたいと考えている。		
様々な情報を見える化し、職員が政策形成の根拠として活用するのは当然のこと、議員各位におかれても、一般質問や委員会調査の参考にしていただきたいと考えている。 ・質問 ・B I ツールのデータの更新頻度はどの程度か。 ・年度単位での更新を想定している。 ・これまでも様々な方法で情報発信してきたと思うが、それらとの連携などはどう考えているか。一方的に発信して終わりとならないようにしてほしい。 ・今見てもらったのは一部の機能で、ほかにも様々な情報がある。入口が一つになったことは使いやすくなったと思うので有効活用してもらいたい。 また、発信するばかりではなく、多くの声を聞くということも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。 ・月ごとにデータの更新はできないか。 ・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。 ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。					
議長 西原 議員 4番 伊勢 ・ B I ツールのデータの更新頻度はどの程度か。 ・ 年度単位での更新を想定している。 ・ 定れまでも様々な方法で情報発信してきたと思うが、それらとの連携などはどう考えているか。一方的に発信して終わりとならないようにしてほしい。 ・ 今見てもらったのは一部の機能で、ほかにも様々な情報がある。入口が一つになったことは使いやすくなったと思うので有効活用してもらいたい。 また、発信するばかりではなく、多くの声を聞くということも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。 ・ 月ごとにデータの更新はできないか。 ・ 月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。 ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。					
議長 西原 議員 4番 伊勢 総務部長 伊藤 議員 11番 今西 総務部長 伊藤 総務部長 伊藤 総務部長 伊藤 総務部長 伊藤 議員 4番 伊勢 総務部長 伊藤 総務部長 伊藤 総務部長 ・月並位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。			様々な情報を見える化し、職員が政策形成の根拠として活用するのは当然のこと、議		
議員 4番 伊勢 総務部長 伊藤 議員 11番 今西 総務部長 伊藤 総務部長 伊藤 総務部長 伊藤 総務部長 伊藤 ・今見てもらったのは一部の機能で、ほかにも様々な情報がある。入口が一つになったことは使いやすくなったと思うので有効活用してもらいたい。また、発信するばかりではなく、多くの声を聞くということも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。 ・月ごとにデータの更新はできないか。 総務部長 伊藤 総務部長 伊藤 ・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。			員各位におかれても、一般質問や委員会調査の参考にしていただきたいと考えている。		
 ・・年度単位での更新を想定している。 ・・これまでも様々な方法で情報発信してきたと思うが、それらとの連携などはどう考えているか。一方的に発信して終わりとならないようにしてほしい。 ・今見てもらったのは一部の機能で、ほかにも様々な情報がある。入口が一つになったことは使いやすくなったと思うので有効活用してもらいたい。また、発信するばかりではなく、多くの声を聞くということも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。 ・月ごとにデータの更新はできないか。 ・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。 	議長	西原	·質問		
 ・これまでも様々な方法で情報発信してきたと思うが、それらとの連携などはどう考えているか。一方的に発信して終わりとならないようにしてほしい。 ・今見てもらったのは一部の機能で、ほかにも様々な情報がある。入口が一つになったことは使いやすくなったと思うので有効活用してもらいたい。また、発信するばかりではなく、多くの声を聞くということも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。 ・月ごとにデータの更新はできないか。 ・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。 			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
るか。一方的に発信して終わりとならないようにしてほしい。 ***********************************	総務部長		・年度単位での更新を想定している。		
 ・今見てもらったのは一部の機能で、ほかにも様々な情報がある。入口が一つになったことは使いやすくなったと思うので有効活用してもらいたい。また、発信するばかりではなく、多くの声を聞くということも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。 ・月ごとにデータの更新はできないか。 ・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。 	議員 11番	今西	・これまでも様々な方法で情報発信してきたと思うが、それらとの連携などはどう考えてい		
とは使いやすくなったと思うので有効活用してもらいたい。 また、発信するばかりではなく、多くの声を聞くということも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。 ・月ごとにデータの更新はできないか。 ・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。 ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。					
また、発信するばかりではなく、多くの声を聞くということも必要で、住民参加などに関することも同時並行で進めていかなければならないと思っている。 ・月ごとにデータの更新はできないか。 ・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。 ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。	総務部長	伊藤	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
ることも同時並行で進めていかなければならないと思っている。 ・月ごとにデータの更新はできないか。・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。					
議員 4番 伊勢 ・月ごとにデータの更新はできないか。 ・移務部長 ・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータもある。 ある。 ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。			また、発信するばかりではなく、多くの声を聞くということも必要で、住民参加などに関す		
・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータも ある。 ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。					
ある。 ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。	議員 4番		・月ごとにデータの更新はできないか。		
ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。	総務部長	伊藤	・月単位で公開する意味があまりない項目もある。また、月ごとの集計が困難なデータも		
			ある。		
議長 西原 11:07 閉会			ただし、人口については毎月集計しているので、その更新頻度は今後検討してきたい。		
the state of the s	議長	西原	11:07 閉会		